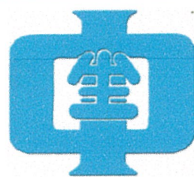


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第24号
(令和元年11月)

文責 西澤 庄藏

金曜日は生月中学校「生月文化の日」開催日です。ご来場・ご観覧願います。

令和元年11月8日(金) 9:00~15:00

生月町開発総合センターにて (平戸市生月町里免1610)

(中学校での開催ではありませんのでご注意ください。)

昨年度同様、総合的な学習の時間の発表と合唱コンクールを同一日に行います。また、総合的な学習の時間でお世話になった方々をお招きしていた経緯もあり、地域の多くの方々にもご参観の案内をさせていただくようになりました。そのため校外施設を会場として実施する運びとなりました。

予定時刻は以下の通りです。

(1) 午前の部【総合的な学習の時間の発表】 9:00~12:20
(開会行事を含む)

● 1年生の発表 9:30~10:10

● 2年生の発表 10:25~11:05

● 3年生の発表 11:20~12:20

(2) 午後の部【合唱コンクール】 13:30~15:00
(開会行事を含む)

当日は、PTA安全委員会の方々にご協力いただき、バザー販売もロビーにて行います。

「文化の秋」を彩る学校行事となるよう精一杯努めますので、どうぞ、万障お繰り合わせの上、ご来場・ご参観ください。

新たな試みとして、3年生が、地域の方々への周知のため、地域に出向いて案内チラシとチケットを配付しての広報活動を行いました。もしかしたら、お手元に案内チラシとチケットをお持ちの方々もいらっしゃるかもしれません。当日に受付でチケットをもぎることまで体験させたいとの担当者の意向から実践されたことです。当日 09:00 開会までにご入場の方々は受付で生徒がチケットをもぎるかもしれませんのでご注意ください。私も町内の各種会議に飛び入り参加してチケットを添えた案内チラシを配付しての周知活動を行いました。ただ、全ての町民にチケットが行き渡っているわけではありませんので、もちろん「チケットなし」でも入場は可能です。再入場(出たり入ったり)も自由です。どうぞ、ご心配なさらず、ゆっくりとご観覧ください。

【折々の風景から】(修学旅行の1コマから)

2年生の修学旅行に引率者として同行しました。物怖じしない姿勢や折り目正しい態度が随所に見え、2年生の「集団の力」を感じました。数多くの見学地を訪れ「百聞は一見に如かず」の言葉どおり間近に見るものに圧倒されました。中でも、筑前町立大刀洗平和記念館(福岡県)は、語り部の朗読に、過去の惨禍から現在の平和を感じることに十分すぎる内容であり、圧倒されました。関係して、「生月文化の日」でも、これまでの平和学習の集大成として、劇「オキナワ ナガサキ フクシマ」を披露します。生徒の思いを劇を通じて感じ取っていただければ幸いです。

さて、今回、見学地の一つに工場見学がありました。私は、工場見学が久しぶりでしたので、期待して臨みました。石鹼工場であり、その製造工程等、大変勉強になりました。オートメーション化された工場でも、石鹼を製造する過程に「職人」の存在が未だ欠かせないことも知り、興味深く学びました。それ以上に担当者の説明に際しての自信に満ちた表情が印象的でした。企業の第一の目的は利潤の追求です。が、値段は少々高いが(利潤の追求よりも)万人の肌に優しい商品を作ることを通じて社会貢献するという一貫した社風が垣間見えたからです。工場見学でしたが、「自信」と「誇り」をもって説明する一従業員の表情や態度に、大いに刺激を受けたひとときでした。



←写真は担当者の説明風景です。

【シャボン玉石けん(株)本社工場】

大阪や京都での観劇や見学、体験は心動かされるものばかりでした。ただ、今回の工場見学から、九州にも「知る人ぞ知る」見学地があることを再認識することができました。